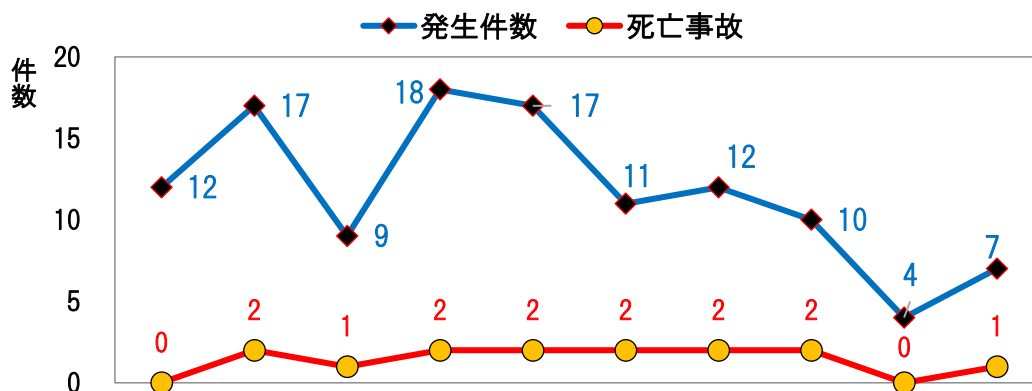


## 飲酒事故の分析結果

### 1 原付以上運転者（第1当事者）の過去10年間の飲酒人身事故発生状況（H26～R5）

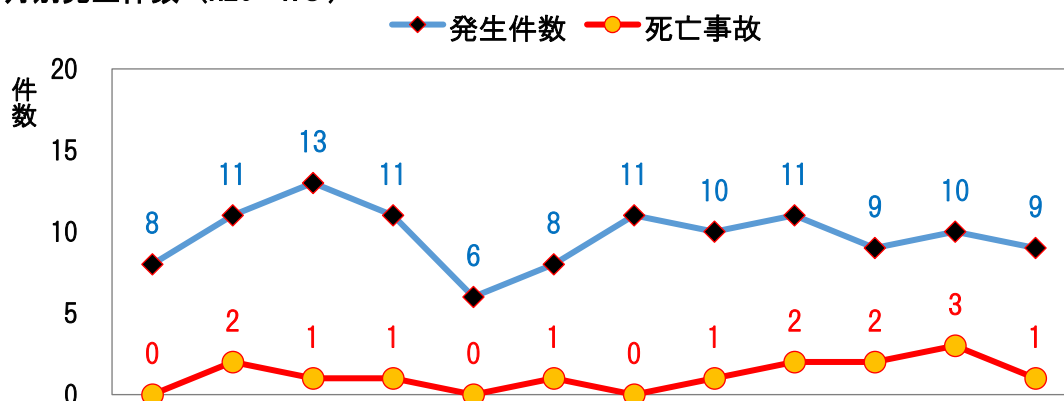
#### (1) 発生件数の推移



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
発生件数	12	17	9	18	17	11	12	10	4	7	117
うち死亡事故		2	1	2	2	2	2	2		1	14
死者数		2	1	2	3	2	2	2		1	15
負傷者数	13	17	9	25	24	14	10	10	4	9	135

- 県内の飲酒人身事故は、過去10年間で117件発生し、同事故により、15人が死亡し、135人が負傷している。
- 過去10年間で発生件数が最も多い平成29年以降は、概ね減少傾向で推移していたが、令和5年は前年から3件増加するなど、依然として飲酒運転による交通事故は発生している。

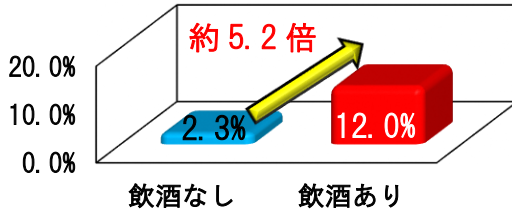
#### (2) 月別発生件数（H26～R5）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	8	11	13	11	6	8	11	10	11	9	10	9	117
うち死亡事故	0	2	1	1	0	1	0	1	2	2	3	1	14
死者数	0	2	1	1	0	1	0	1	2	3	3	1	15
負傷者数	10	9	18	11	8	8	12	16	14	8	10	11	135

- 月別で見ると、3月が13件と最も多く、5月は6件と最も少ない
- 死亡事故は、11月（3件）が最も多い
- 死亡事故は上半期（1～6月）に5件（35.7%）、下半期（7～12月）に9件（64.3%）と、年末にかけて多発する傾向にある。

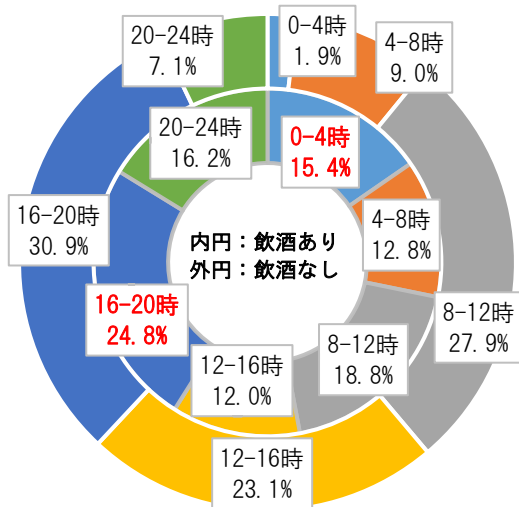
(3) 死亡事故率 (H26~R5)



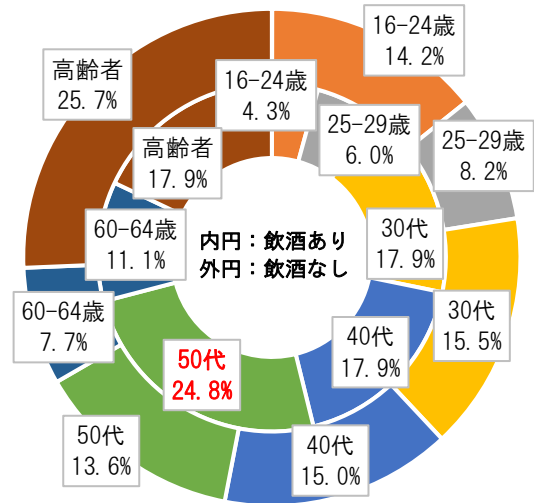
飲酒事故の死亡事故率 = (死亡事故件数 ÷ 事故件数)

- 「飲酒あり」は約12.0% (117件中死亡事故14件)、「飲酒なし」は約2.3% (8,082件中死亡事故187件)と「飲酒あり」が「飲酒なし」の約5.2倍であった。

(4) 時間別発生件数

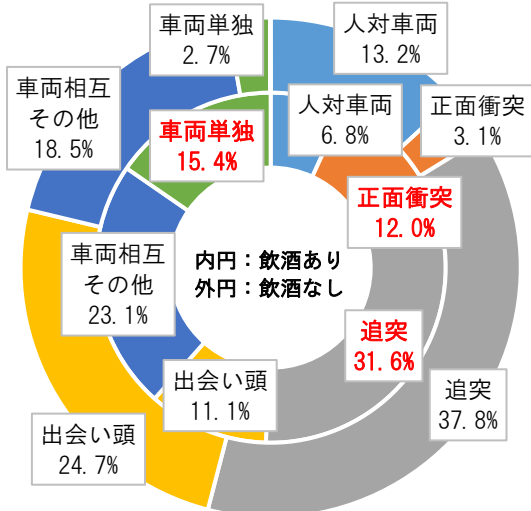


(5) 運転者の年齢別発生件数



- 時間別では、16～20時が全体の24.8%と最も割合が高い。
- 0～4時は15.4%で「飲酒なし」の約8.1倍
- 運転者の年齢層別では、50代が24.8%と最も割合が高く、「飲酒なし」の50代の約1.8倍

(6) 事故類型別発生件数



(7) 曜日別発生件数

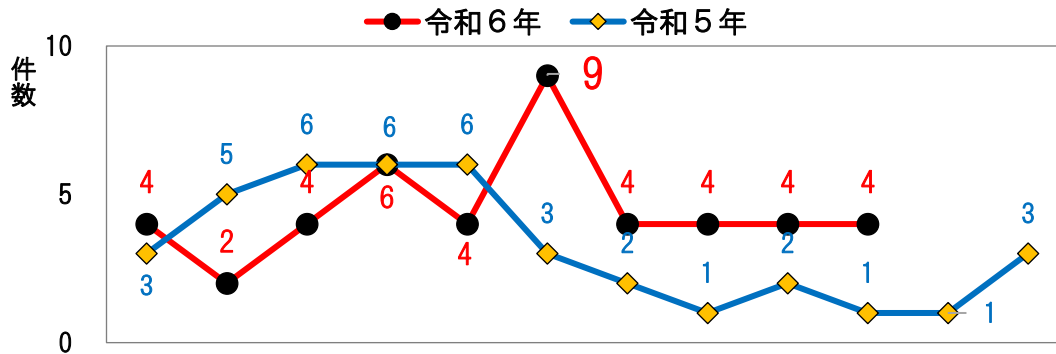


- 事故類型別では、追突が全体の31.6%と最も割合が高い。
- 単独事故は「飲酒なし」の約5.7倍、正面衝突は「飲酒なし」の約3.9倍
- 曜日別では、日曜日が17.1%と最も割合が高く、「飲酒なし」の約1.5倍

※ 資料は、原付以上運転者（第1当事者）のデータを元に作成。

## 2 令和6年10月末現在の飲酒事故の発生状況（人身事故と物損事故の合計（速報値））

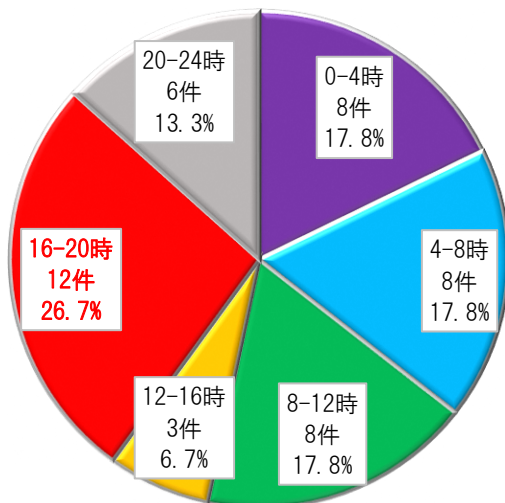
### (1) 月別発生件数（人身事故9件（+2件）、物損事故36件（+8件））



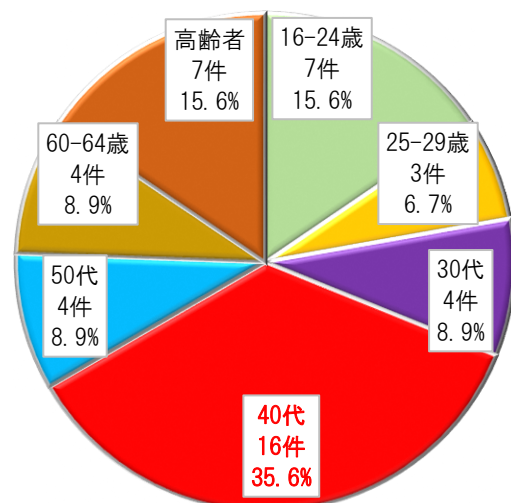
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和6年	4	2	4	6	4	9	4	4	4	4			45
令和5年	3	5	6	6	6	3	2	1	2	1	1	3	39

- 本年10月末現在、飲酒事故は45件発生、前年10月末の35件から10件増加
- 月別では、6月に9件と最も多く発生、2月の2件を除くと各月4件以上発生

### (2) 時間別発生件数



### (3) 運転者の年齢別発生件数



- 時間別では、16～20時が12件（26.7%）と最も多い。
- 運転者の年齢別では、40代が16件（35.6%）と突出し、次いで16～24歳及び高齢者が7件（15.6%）と多い。

※ 令和5年までの10年間（人身事故）と、令和6年10月末現在（人身事故及び物損事故）を比較すると、

- 時間別では、4～8時の割合が大きく増加
- 年齢別では、16～24歳の割合が約3.6倍、40代の割合がほぼ倍増という結果が出ています。